

地域課題「8050問題について」

地域課題 「8050 問題について」

1. 概要

一般的な定義としては、「80 代の親が 50 代の引きこもりの子どもを養っている」状態。

50 代の子が何らかの原因で引きこもり状態となり、そのまま生活が苦しくなったり、地域から孤立して問題となっている状態。本人たちが周りに相談をせず、周囲の人間が気づいたり支援に入らないまま、引きこもりの状態が長期化する傾向がある。

2. 経過

1980 年代から 1990 年代にかけ、若者の不登校や引きこもりが知られるようになり、2000 年代には「ニート」という言葉が流行したが、中高年の引きこもりに関する調査などはこれまで行われていなかった。

2010 年以降、高齢の親といっしょに暮らす中高年の引きこもりの人が発見されることが増え、社会問題として知られ始める。

「8050 問題」と最初に名付けられたのは 2018 年。

2019 年の 3 月に、国の調査により「社会的ひきこもり」(※)の状態にある 40～64 歳の人数が推計 61 万 3 千人いると発表された(15～39 歳は 54 万 1 千人)。引きこもりに至った原因は

「退職した」

「人間関係がうまくいかなかった」

「病気」

「職場になじめなかった」

「就職活動が上手くいかなかった」など。

令和 2 年には、国会で社会福祉法の改正が行われ、引きこもりを含めた様々な家庭や世帯の支援を行えるよう制度が改正された。

※「社会的ひきこもり」=仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせず、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態

3. 8050 問題が原因と思われる事件の例

・2018 年 1 月(発見)…札幌市で 82 歳の母親と 52 歳の娘が「低栄養状態によ

る低体温症」により死亡。検針に来たガス業者が異変に気づき発見されたが、前の年には死亡していたとみられている。娘は 20 年近くひきこもり状態だった。

・2018 年 11 月（発見）…横浜市で、家で暮らしていた母親（81 歳）が死亡した後、同じ家に住む長女（50 歳）が一年近く遺体を放置し、死体遺棄で逮捕された事件。長女は親の介護のため仕事をやめ家にいたが、3 年ほどひきこもりの状態だった。

・2018 年 11 月（発見）…横浜市で、家で暮らしていた母親（76 歳）が死亡した後に同じ家に住む長男（49 歳）が半月ほど遺体を放置し、死体遺棄で逮捕された事件。長男は 40 年近くひきこもりだった。

その他、ニュースにはならないとしても、孤立死や親子共倒れ、親が死んだ後の死体遺棄、親が死んだ後の生活苦などの問題がある。

4. 檜山地域での地域課題としての 8050 問題

全道と比べても檜山は高齢化の傾向が高く、相談先も限られているため、これまで表にならなかった問題として「8050 問題」が出てくる可能性は高いと思われる。

（以下、事例）

8050問題 背景はひきこもりの長期高齢化

「8050問題」という言葉をご存じでしょうか？

「80」代の親が「50」代の子どもを支えるという問題です。背景にあるのは子どもの「ひきこもり」です。ひきこもりという言葉が社会にではじめるようになった1980年代～90年代は若者の問題とされてきましたが、訳30年が経ち、当時の若者が40代から50代、その親が70代から80代となり、長期高齢化。こうした親子が社会的に孤立し、生活が立ち行かなくなる深刻なケースが目立ち始めています。

檜山圏域でもこのようなケースがみられています。

ケース1

○50代 男性 双極性障がい

家族構成…父（80代）要介護3

母（80代）要支援1

- ・地元の高校を卒業後、東京の専門学校に進学。卒業後そのまま東京で就職。
- ・30歳ごろ仕事をやめ引きこもり状態となり、6年間親からの仕送りで生活していた。
- ・その後実家に戻り、アルバイトで何度か働いたが長続きせず、引きこもりの生活が続く。収入はない。
- ・B型肝炎キャリアにより、年間40万円ほど支給されていた。
- ・R2年、父親が施設入所。すぐ母親がうつ病で入院し、一人暮らしとなる。
- ・家が古く、住める状態になかったため、同年12月に町営住宅に引っ越し。
- ・親の支援がなくなり、兄弟から相談を受ける。 ⇒障害福祉サービスを日中利用

ケース2

○40代 男性 精神障がい（うつ）

家族構成…母（70代）パート就労。

妹（30代）精神科入院中

- ・地元の高校を卒業後、札幌で働いていたが、視力が急激に低下したことで仕事が続けられなくなる。
- ・しばらくはパートの仕事でつないでいたが、35歳生活ができなくなり自宅に戻る。
- ・母親はパート就労。妹は就労支援事業所を利用。生活は困窮している。
- ・何かできる仕事がないかと相談室に相談に来た時期もあるが、今は全く動きがみられない。
- ・両親は離婚。母親の実家は遠方にあり、身内が傍にいない状況で、母親は相談する相手がいない。
- ・近所の人、外に出る姿を見ていないので、帰ってきていることはしばらく知らなかった。

北海道と檜山の年齢別人口動態

	H15		H20		H25		H30	
	全道	檜山	全道	檜山	全道	檜山	全道	檜山
0~9歳	497,450人 (0.09)	4,322人 (0.08)	441,930人 (0.08)	3,318人 (0.07)	410,489人 (0.08)	2,516人 (0.06)	382,710人 (0.07)	2,073人 (0.06)
10代	588,605人 (0.10)	5,467人 (0.10)	517,585人 (0.09)	3,874人 (0.09)	476,537人 (0.09)	3,229人 (0.08)	445,076人 (0.08)	2,774人 (0.07)
20代	727,543人 (0.13)	5,273人 (0.09)	610,419人 (0.11)	3,407人 (0.07)	530,817人 (0.10)	2,585人 (0.06)	480,098人 (0.09)	2,201人 (0.06)
30代	744,739人 (0.13)	5,683人 (0.10)	765,324人 (0.14)	4,940人 (0.11)	693,861人 (0.13)	4,122人 (0.10)	596,242人 (0.11)	3,195人 (0.09)
40代	735,107人 (0.13)	6,978人 (0.12)	701,523人 (0.13)	5,042人 (0.11)	731,279人 (0.13)	4,564人 (0.11)	760,275人 (0.14)	4,383人 (0.12)
50代	899,413人 (0.16)	9,038人 (0.16)	859,923人 (0.15)	7,270人 (0.16)	714,937人 (0.13)	5,623人 (0.14)	687,453人 (0.13)	4,644人 (0.12)
60代	718,026人 (0.13)	8,584人 (0.15)	752,174人 (0.13)	6,772人 (0.15)	856,372人 (0.16)	6,962人 (0.17)	830,478人 (0.16)	6,578人 (0.18)
70代	522,138人 (0.09)	7,660人 (0.13)	589,768人 (0.11)	6,582人 (0.14)	625,149人 (0.11)	6,297人 (0.15)	653,522人 (0.12)	5,701人 (0.15)
80以上	247,835人 (0.04)	4,036人 (0.07)	333,124人 (0.06)	4,297人 (0.09)	426,010人 (0.08)	5,007人 (0.12)	521,463人 (0.10)	5,751人 (0.15)
総人口	5,680,855人	57,040人	5,571,769人	45,501人	5,465,450人	40,904人	5,357,316人	37,299人